▼2020年1月1日　麺業新聞

より強い「発信力」を

国民生活産業・消費者団体連合会

会長　小川　賢太郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和も二年目となり、国内では新しい時代への息吹をより強く感じる年を迎えました。しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、言につなげるため、昨年、「国家財政の見える化」委員会、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題」委員会という三つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてまいりました。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明な国民生活と生命を守る生団連は、今こそ国民組織としてこれまで以上に存在感を高め、力を発揮していくべき時であると考えています。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明な国家財政など、国民の生活・生命に関わる待ったなしの問題に直面しています。こうした諸課題に対し、生団連では国民的議論を具体的な政策提言につなげるため、昨年、「国家財政の見える化」委員会、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題」委員会という三つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてまいりました。

こうした国民不在の議論に対し、私たち日本国民が主権者としてその責任を果たしているかといえば、そこは大いに反省すべきところでしょう。わが国では国民からの発信としてのロビーイングはなお未熟です。それゆえ、実効性のある活動を推進する国民団体として大きな使命を担う生団連が、事実に基づいた現状認識と課題設定により議論を深め、より強い発信力をもって政・官にその影響力を行使していく必要があります。

会員諸団体におかれましてもより積極的に議論に参加いただきたいと思います。

本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

▼2020年1月1日　寝具新聞

より強い発信力行使

国民生活産業・消費者団体連合会

会長　小川　賢太郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和も2年目となり、国内では新しい時代への息吹をより強く感じる年を迎えました。しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係がいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。

こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守る生団連は、今こそ国民組織としてこれまで以上に存在感を高め、力を発揮していくべき時であると考えています。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明な国家財政など、国民の生活・生命に関わる待ったなしの問題に直面しています。こうした諸課題に対し、生団連では国民的議論を具体的な政策提言につなげるため、昨年、「国家財政の見える化」委員会、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題」委員会という3つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてまいりました。

こうした国民不在の議論に対し、私たち日本国民が主権者としてその責任を果たしているかといえば、そこは大いに反省すべきところでしょう。

わが国では国民からの発信としてのロビーイングはなお未熟です。それゆえ、実効性のある活動を推進する国民団体として大きな使命を担う生団連が、事実に基づいた現状認識と課題設定により議論を深め、より強い発信力をもって政・官にその影響力を行使していく必要があります。

会員諸団体におかれましてもより積極的に議論に参加いただきたいと思います。

本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

▼2020年1月6日　食料新聞

2020年 年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会　会長　小川　賢太郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和も2年目となり、国内では新しい時代への息吹をより強く感じる年を迎えました。しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守る生団連は、今こそ国民組織としてこれまで以上に存在感を高め、力を発揮していくべき時であると考えています。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明な国家財政など、国民の生活・生命に関わる待ったなしの問題に直面しています。こうした諸課題に対し、生団連では国民的議論を具体的な政策提言につなげるため、昨年、「国家財政の見える化」委員会、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題」委員会という3つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてまいりました。

こうした国民不在の議論に対し、私たち日本国民が主権者としてその責任を果たしているかといえば、そこは大いに反省すべきところでしょう。わが国では国民からの発信としてのロビーイングはなお未熟です。それゆえ、実効性のある活動を推進する国民団体として大きな使命を担う生団連が、事実に基づいた現状認識と課題設定により議論を深め、より強い発信力をもって政・官にその影響力を行使していく必要があります。

会員諸団体におかれましてもより積極的に議論に参加いただきたいと思います。

本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

▼2020年1月6・13日　菓子食品新聞

国民組織としての存在感高める

国民生活産業・消費者団体連合会　会長　小川　賢太郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和も2年目となり、国内では新しい時代への息吹をより強く感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守る生団連は、今こそ国民組織としてこれまで以上に存在感を高め、力を発揮していくべき時であると考えています。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明な国家財政など、国民の生活・生命に関わる待ったなしの問題に直面しています。こうした諸課題に対し、生団連では国民的議論を具体的な政策提言につなげるため、昨年、「国家財政の見える化」委員会、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題」委員会という3つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてまいりました。各委員会の座長がそれぞれ会長代行に就任することで、生団連の活動は強化され、組織運営もより円滑なものとなっています。

私は生団連会長を引き継いで3年目を迎えますが、こうした国民運動を通じて痛感するのは、国民生活を大きく左右するような政策においても、その多くは国民不在で議論されてきたということです。政策の立案においても、現場で起こっている個別の事実や前提条件そのものに対する十分な検証も行われないまま、固定観念に基づいた議論に終始している感があります。

こうした国民不在の議論に対し、私たち日本国民が主権者としてその責任を果たしているかといえば、そこは大いに反省すべきところでしょう。

わが国では国民からの発信としてのロビーイングはなお未熟です。それゆえ、実効性のある活動を推進する国民団体として大きな使命を担う生団連が、事実に基づいた現状認識と課題設定により議論を深め、より強い発信力をもって政・官にその影響力を行使していく必要があります。

会員諸団体におかれましてもより積極的に議論に参加いただきたいと思います。

本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

▼2020 年 1 月 9 日 水産経済新聞

存在感高めて力を発揮する時
国民不在の政策立案に危機感

国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 **小川 賢太郎**

生団連は、今こそ国民、現場に立脚した政策立案に取り組むべきだと訴えてきた。これまでにも、「外国人の受入れに関する委員会」、「エネルギー・原発問題委員会」という3つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてきたところだ。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明感の強い社会経済情勢、国民の生活と生命を守るための安全保障、国民生活を大きく左右するような法整備など、国民生活に関する課題は山積している。

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るのは、国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 小川賢太郎氏

より強い発信力で影響力を行使

国民生活産業・消費者団体連合会 会長 **小川 賢太郎**

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るという3つの新しい委員会を発足させ、議論を深めてきたところです。

わが国は、労働人口の減少、先行き不透明感の強い社会経済情勢、国民の生活と生命を守る

議論深め影響力行使

国民生活産業・消費者団体連合会会長 **小川 賢太郎**

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るのは、国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 小川賢太郎氏

年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会
会長 **小川賢太郎氏**

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るのは、国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 小川賢太郎氏

年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会
会長 **小川賢太郎氏**

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るのは、国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 小川賢太郎氏

年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会
会長 **小川賢太郎氏**

令和も2年目となり、国内では新しい時代への胎動を感じる年を迎えました。

しかし、広く世界を見渡せば、米中の緊張関係が続き、ブレグジットがいよいよ具体化するなど先行き不透明な状況が続いています。こうした不安定な世界の中にあって、国民の生活と生命を守るのは、国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長 小川賢太郎氏